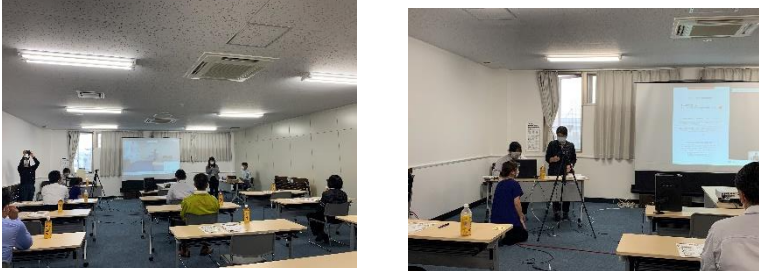


# 事業報告書

日時	令和2年12月2日(水) 15:00~16:30
目的	金秀グループ生活充実応援委員会からの依頼による講座
対象	金秀グループ 各社管理部長、課長級以上
講師	公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事 垣花みち子 ファザーリングジャパン会員 玉那覇敦也 氏
会場	金秀商事3階 第2会議室またはオンライン受講
参加者数	TOTAL 14名(女性3名 男性11名) ※集合研修の人数
講演内容 (概要)	<p>女性の活躍とワークライフバランスの推進の啓発を目的とし、主に男性管理者の意識改革、男性の育児休業取得につなぐため、女性活躍の重要性を幅広く知ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「男女共同参画とワークライフバランスの推進について」 公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事 垣花みち子</li> <li>・「イクボスプロジェクト～イクボスが増えれば社会が変わる～」 ファザーリングジャパン会員 玉那覇敦也氏</li> </ul> <p>金秀グループ生活充実応援委員会 安藤副委員長による挨拶に続いての講演。 垣花講師は、「ワーク・ライフバランスはひとりひとりがやりがいや充実を感じながら働き、多様な生き方を選択・実現出来る社会である」と説明したうえで、実現するために国が取り組んでいる男女共同参画社会基本法を解説した。また、両立支援制度や、無報酬の育児・家事労働の認識・評価をした「アンペイドワーク」を説明した。 性別に関わらず人間は生活面、経済面、精神面、社会面で自立と自律していることが大切であることなどを述べた。また、ワーク・ライフバランスの「ライフ」には生命、生活、生涯の3つの意味があり、要件伝達型コミュニケーションが多い男性は「ワーク」「ワーク」「ワーク」となりがちなので、地域活動に参加する等の行動を推奨することなどが語られた。</p> <p>玉那覇講師は、イクボスは部下のライフを充実させて仕事のパフォーマンスを最大に出来るよう取り組んでほしいと述べ、当たり前だと思われてきた業務を見直し、改善することが重要と説明した。大学生のアンケート調査で就職先として72%の人が「中小企業だがワーク・ライフバランスを実現できることが可能」などところを選ぶと答えていると紹介し、時代の価値観が変わってきている。「部下のキャリアやライフを応援し、自身も私生活を楽しみながら、しっかり職責を果たすマネジメントができる管理職＝イクボスになりましょう。ボスが変われば家庭・地域・企業・そして社会が変わる」と呼びかけた。</p>
写真	 <p>講座風景</p>
主催等	(公財) おきなわ女性財団